

2022年9月発行

茨木御堂 第285号



真宗大谷派



茨木別院

(前輪番 高木 文善)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

みんなに 願いがかけられている

「真宗本廟(東本願寺)では諸殿を拝観させてもらうことができます。案内してくださる担当の方が決まっておっしゃるセリフがあります。『この御影堂は世界一の木造建築であります』と。門徒である私たちも、このセリフを時折誇らしげに言うことがあります。当茨木別院の本堂は、世界一と誇れるものは何一つありません。しかし、真宗大谷派大阪教区内には五つの別院があるのですが、唯一木造建築の本堂を有しているのが茨木別院であります。しかもこの本堂は国指定の登録有形文化財であります。何としても後世に引き継ぎ、残していかなければならないと思うのであります。

ところが本堂の屋根がずっと以前から不陸をおこしてしまっていて何年も前から屋根の葺き替えが課題となっていました。加えて四年前の大阪北部地震、続いて襲来しました台風二十一号で被害をこうむりました。本堂だけでなく四棟ある建物にも甚大な被害を被ったのであります。茨木別院は教如上人が慶長八(一六〇三)年に創建され、現在の本堂の建立は宝暦十三(一七六三)年に再建されたものであります。爾来二五九年の星霜を経ております。四年前に私は輪番を拝命いたしました。就任直前に地震、就任直後に台風二十一号の被害を被るに至り、御殿・書院が使用禁止になっております。別院の法要行事等すべてに支障をきたしております。その他会館や庫裡・寺務所の建物も老朽化に拍車をかけております。これらの修復及び再建を早く致さねばならないと決意し、全体構想委員会を立ち上げ、度重なる慎重な協議を積み重ね、三年半にしてようやく一応の事業計画が出来上がりました。

その内容を簡潔に申し上げます。認定こども園いばらき大谷学園を別の場所に移転し、跡地を定期借地権(七十年の契約期間)付き賃貸借で業者に借りていただき、その一時金を財源として、本堂の屋根修復・耐震工事及び諸殿(御殿・書院・会館・寺務所)を一つの建物に集約して全ての機能を備える事務所棟を建設する。なお、土地を借りていただく業者はこども園の跡地に十階建てのマンション建設を計画しておられて、現在の本堂の正面が塞がれるかたちになるので、本堂を曳家して正面を南の府道に面するように移動することも計画の中に入っています。早くこれらの工事が完了し、本来の別院の全ての機能が回復され、粛々と報恩講やその他の法要が勤修出来る日を待ちどおしく思うのであります。全ての完成は七年後の令和十一年の予定です。今後とも別院直参門徒の皆様・崇敬地域のご寺院及びそのご門徒様には格別のご援助をお願いすることになると思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、私高木文善は八月三十一日をもって任期が終わり、茨木別院の輪番を退任させていただきます。四年間にわたり関係の皆様方には格別のご支援ご協力を賜り、お育てをいただきましたこと心より厚く御礼申し上げます。誠に失礼ながらこの紙面をおかりして退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

南無阿弥陀仏(前輪番)

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

茨木別院 行事ご案内

9月	10月
●教如上人ご命日・同朋会（どうぼうかい） 日 時 5日（月）午後1時半より 会 場 茨木別院会館 講 師 加藤 恵氏	●教如上人ご命日・同朋会（どうぼうかい） 日 時 5日（水）午後1時半より 会 場 茨木別院会館 講 師 加藤 恵氏
●本山九日講 日 時 9日（金）午後2時より 会 所 長徳寺 講 師 茨木別院輪番	●本山九日講 日 時 9日（日）午後2時より 会 所 明善寺 講 師 茨木別院輪番
●秋季彼岸会 ―お勤めと法話― 日 時 20日（火）午後1時半より 21日（水）午後3時頃まで 会 場 茨木別院本堂 講 師 秦 信映氏	●親鸞聖人御命日・婦人会例会 日 時 28日（金）午後1時半より 会 場 茨木別院会館 講 師 茨木別院輪番
●親鸞聖人ご命日・婦人会例会 日 時 28日（水）午後1時半より 会 場 茨木別院会館 講 師 茨木別院輪番	

秋 季 彼 岸 会 の ご 案 内

「暑さ寒さも彼岸まで」とよく耳にします、夏の暑さも過ぎて秋の時候となります。涼しくなったこの時季にお寺へお参りし、お浄土とお念仏の教えをたしかめましょう。

日 時

9月20日 火・21日 水

●両日とも午後1時半より午後3時頃まで

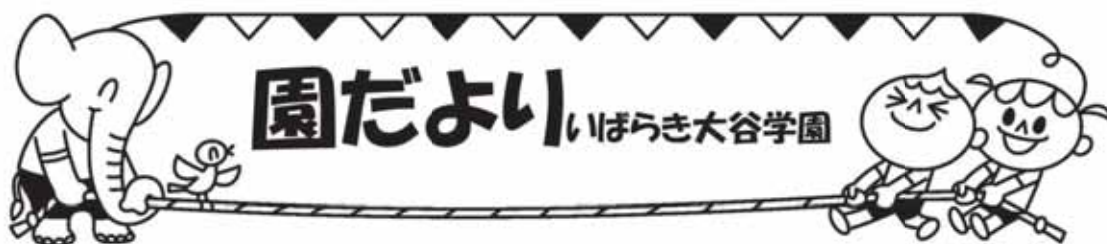
会 場

茨木別院本堂

講 師

秦 信映氏 [長浜教区24組 明徳寺前住職]





蝉の大合唱から、秋の虫が奏でる豊かな音色にバトンタッチするこの時期。終わりを迎える夏に名残惜しさを感じつつ、秋の始まりにもワクワクしています。

この夏は、様々な場所に出かけて楽しかった思い出もたくさん聞こえました。園では年長組の PREMIUM DAY や夏期保育、盆踊りがあり、日々の保育では水遊び等で多くの笑顔が見ることができました。2学期は運動会、遠足、作品展等、行事が目白押しです。

園生活も半年を迎え、子どもたち同士の関わりもかなり増えています。新型コロナウイルスだけでなく秋から冬にかけて流行しやすい感染症もありますので、子ども達の健康管理・安全対策には十分気をつけて行きたいと考えています。引き続きご協力をお願い致します。



- 1日 始業式
- 16日 運動会予行
- 23日 運動会
- (26日 予備日)
- 30日 遠足



- 7日 動物村
- 13日 年中組芋掘り
- (14日 予備日)
- 26日～28日 保育参観
- 26日～29日 作品展

※上記の行事予定は変更する場合があります。ご了承ください。

園庭開放のお知らせ

予約は不要ですが来園されたときに、入口にてお名前・連絡先の記入にご協力ください。

時間 10:00～11:00

- 9月 8日(木) 12日(月)
- 29日(木)
- 10月 3日(月) 13日(木)
- 24日(月)

* 上記は予定ですので、園行事等によって変更する場合があります。

* 雨天・園庭状態不良・感染症発生時は中止です。

* 誕生会とあそぼう会につきましては、コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間中止致します。



「子どもが真剣に求めているのは自由である」。これは保育の原理原則であります。このことをふまえて前号に引き続きもう少し述べさせていただきます。

一斉保育(設定保育ともいいます)ではカリキュラムを作成し、それに従ってその日の保育が展開されます。ほとんど多くの場合クラスの全員に同じ課題が課せられるのが通常です。つまり一斉保育と言われる所以であります。

自由保育は俗に遊び保育ともいわれますが、この保育の場合のポイントはいろんな遊び(道具)をいくつも用意することです。自分の好きな遊びを選ぶための入り口は興味・関心ですから、子どもが興味・関心を引く遊びを数多く準備する必要があります。

遊びの例をあげてみます。

こどものオモチャで、一五センチ四方くらいの枠になっている編み物用具があります。縦糸になる毛糸を張って、カギ針で横糸の毛糸を編んでいきます。最初はうまくいかない子もありますが、興味に引かれているものですから長い時間かけても取り組みます。慣れを覚えると次には見事に作られた見本をみて挑戦します。見本にはきれいな花模様やいろんな模様のものがあります。次々とそれに挑戦します。時間の来るのも忘れて熱中しますので、翌日の仕事に残して帰ることもあります。いくつかの見本に挑戦することが終わると、今度は自分の創造力で素晴らしい模様の毛糸編みをやったのけるのです。何時間も飽きずに取り組む姿は保育者も感心するほどのものです。これは将来毛糸編みをするのに役立つための練習をしているのではありません。まず、子ども自らが選んだ遊びに一心不乱に汗水流して取

り組む事、それが「子どもが真剣に求めているものは自由である」ことを実現する保育なのであります。そのプロセスで培われる主体性・意欲・忍耐力・創造性を高める保育(遊び)なのであります。

もう一つ、ラキューという遊びがあります。これは組立用のピースが沢山あり、このピースを使っているんなものを作る(組み立てる)オモチャです。この組立ピースは球形を作ることが出来、子どもにとっては、世間でよく見かけるブロックやピース状のもので作るものとはまた違う見事な作品が作れるのです。見て私もびっくりしました。子どもの好きな恐竜の作品を見ましたが、口をパクパク開けるような見事な創意工夫がしてありました。もう一つの作品は真っ赤なピースばかりを使ったイセエビの作品がありました。これは見本を見て作ったものではなく、その子の創造力で作られたものです。しつぽの部分が見事に折り曲げられていて本物そっくりな出来栄に、これが子どもの作品かと仰天したことでした。これが「子どもが真剣に求めているのは自由である」と言える自由保育、つまり子どもが遊びを自由に選び、自らの努力と想像力を発揮するもので、その過程で培われていく主体性・意欲・忍耐力・創造性が見事に培われていくのを見ることが出来ます。幼児の時期にこの主体性・意欲・忍耐力・創造性を何としても獲得しておかねばならず、それらを獲得することを成長とは言わず「育ち」というのです。これからの長い人生を生きっていくのにどうしても必要なファクターであるからです。

茨木別院 事務所受付・閉門 時間についてのご案内

所 務 時 間	〔平日〕 九時～十七時
事 務 受 付	〔土・日〕〔基本〕 〔祝日〕 九時～十六時半
閉門時間	〔平日・土〕 十九時頃 〔日・祝日〕 十六時半頃

*法務等で事務所が留守になっている時間帯があります。ご用事がある場合には事前にご連絡いただき事務所が開いているか確認の上ご来院お願いいたします。

●茨木別院事務所

☎〇七二一六二二一二九〇三

*月忌参り、法事等の申込については電話での連絡も受け付けております。

*須弥壇・合祀納骨の申込については、電話での対応も受け付けておりますが、それぞれ納骨予定日までに入用紙を茨木別院まで取りに来ていただき提出いただく必要があります。

*土・日・祝日の対応について、時間帯によって電話がつかない場合がございます。

須弥壇納骨のご案内

本堂須弥壇（ご本尊）の下に納骨壇を設けております。たくさんの方にご利用いただけるようご案内いたします。

●冥加金

茨木別院門徒・ご崇敬内門徒
七万円

その他

十万円
真宗大谷派に所属する
寺院・僧侶・門徒に限
らせていただきます。

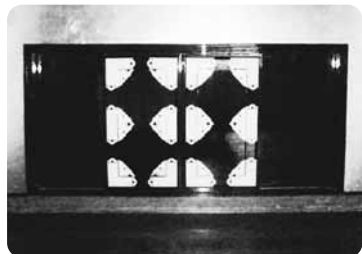
*納骨時の儀式執行は別院が執行します。

*申込みにしては、事前に別院事務所まで

お問い合わせ下さい。

●お問い合わせ先：茨木別院事務所

☎〇七二一六二二一二九〇三



合祀墓のご案内

茨木別院墓地敷地内に合祀墓を設けております。

納骨をお考えの方は一度ご連絡下さい。



個別納骨（石版に法名を刻名）

●冥加金

三十二万五千元

納骨冥加金 二十万円
永代管理費 十万円
刻名料 二万五千元

合同納骨

●冥加金

五万円

●ご利用は浄土真宗に所属する寺院・僧侶・門徒に限らせていただきます。

暁天講座

七月二十一日・二十二日、茨木別院において暁天講座を開催しました。今年の講師は、大谷大学名誉教授の沙加戸弘氏でした。講題を「法然上人誕生」とされ、午前七時の動行後にお話しいただきました。

新型コロナウイルス感染拡大も心配されていましたが、たくさんの方に聴聞していただきました。

また今年も、株式会社京仏具小堀様より朝食にパンと飲み物の協賛をいただきました。



— 生花・供花・けいこ花 —

株式会社 花 廣

茨木市大手町一・二・八

☎(〇七二)六二二二四〇二

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

● 法名 釋幸信
俗名 高木 幸男 九十四歳

● 法名 釋尼莊文
俗名 古川 文子 九十八歳

● 法名 釋尼妙智
俗名 山本 智恵子 七十八歳

● 法名 釋照見
俗名 福井 照和 九十四歳

● 法名 釋三信
俗名 桂 三郎 八十二歳

● 法名 釋尼妙恵
俗名 島津 恵美子 九十五歳

● 法名 智願院釋尼妙和
俗名 上島 和子 九十七歳

編集後記

いばらき大谷学園の入り口が新設されました。今までは初めて見学に来られた方が、入り口が解らずに迷われている姿も珍しくありませんでした。少しずつですが、安全で通いやすい園になっています。

岡崎 康祐

行動制限のない夏休みが終わりました。ご親類が揃われてお迎えするご法事の座も少しずつ戻ってきたと感じます。人が会える大切さを改めて感じております。

墨林 尚顕

酷暑の中、盂蘭盆会へたくさんの方がお参りに来られていました。九月には彼岸会が近づきます。残暑厳しいかと思いますが、お盆に続きお参りいただければ幸いです。

竹内 明人